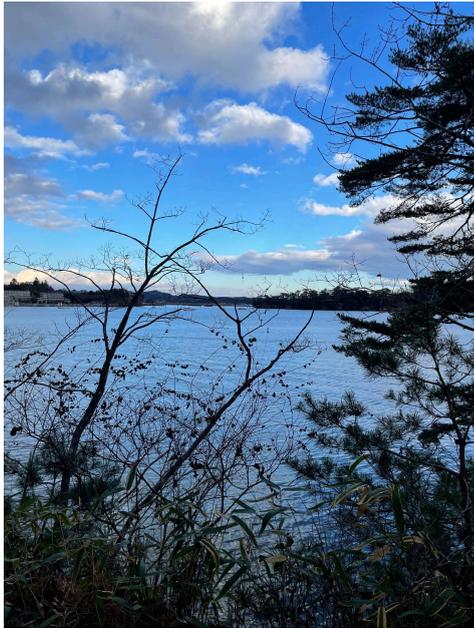


## 日本での生活と学習：交換留学の経験

サピエンツァ ローマ大学

キュウ・レヤオ



私は2025年9月の終わりごろに日本に来て、同年10月から正式に交換留学生としての生活を始めました。

約4か月が過ぎ、その間にたくさんの経験をすることができました。初めて一人で生活するので、最初に一番心配だったのは、イタリアの家族や友達に会えないことでした。また、休みの間に帰国するか、日本に残っているいろいろな場所を訪れるか、迷っていました。結局、日本に残ることに決めました。これにより、本でしか見たことがない多くのものを実際に見ることができました。一人で行動することも、人生を楽しむ一つの方法だとわかりました。

日本に来る前は、一人で旅行することを考えたことがありませんでした。孤独が好きではないからです。しかし、ここに来てから、一人で旅行するようになり、神奈川県いくつかの都市、会津若松、仙台、盛岡、山形、山寺など、たくさんの場所を訪れました。私の交換留学の経験はまだ終わっていません。残りの時間も旅行を続け、新しいことを発見したいと思っています。

学習面についてですが、日本の大学（すべての大学がそうかはわかりません）とイタリアの大学との大きな違いは、クラスが小さく、クラスメイトや先生と話し合う機会が多いことです。もう一つの大きな違いは、多くの授業で毎週課題があることです。しかし、これにより期末試験やレポートの負担が軽くなります。学生は毎回勉強することが求められ、評価は授業全体の参加と努力に基づいています。この日本の学習方法がとても好きです。

私は日本語の授業と、自分の専攻の授業の両方を受けました。どちらの授業でも、新しいことをたくさん学びました。以前に学んだことが役に立つ場合もありますが、多くの場合、同じ内容が違う視点から説明されます。これは私にとって大きな文化交流の機会であり、異なる文化背景を持つ人々が同じことを違う見方で理解することを学びました。それに関連して、生け花や日本の伝統的なお菓子作りなどの文化の授業にも参加することができました。



最後に、この交換留学の最初の学期で出会ったすべての人に感謝したいです。先生方、私の指導先生であるAllen先生（授業も受けました）、そして日本語と一緒に練習した私のチューターである蛸原さん、さらに国際学生や日本人の学生、皆さんに感謝します。

残りの時間も、コンフォートゾーンを出て、新しいことを学び、個人的にも学問的にも成長していきたいと思います。